

減容化・再生利用と復興を考える知のネットワーク 第1回会合 ～さまざまな方々をつなぐ緩やかなネットワークづくり～

帰還困難区域を除き面的除染は完了し、除去土壌等の中間貯蔵施設への輸送は来年度には概ね搬入完了を目指す状況となり、特定復興再生拠点区域では避難指示解除に向けた環境整備の計画が進展しています。除去土壌等の減容・再生利用を推進すべく策定された国の技術開発戦略は中間目標という折り返し地点を通過しました。

復興に向けた取組が新たな段階に入ろうとするこの機会に、これまでの中間貯蔵や復興に向けた活動に取り組む方々を起点とし、これからの減容化・再生利用と復興をともに考える方々の幅広い参画を得たネットワークの新たな構築に取り組みます。

この「知のネットワーク」では、長い中間貯蔵事業の期間を見据えて様々な話題を語り合える「サロン」として情報交換などを行っていき、復興につながる取組について、自由に活発な議論や連携を生み出していくことに貢献していきたくて考えています。

今回、環境放射能除染研究発表会がWEB開催される機会を捉え、「知のネットワーク」の最初の会合を開催いたします。これまでの取組を、産学官の各分野に加え、将来を担う世代や地域共生の視点から振り返りながら、復興に向けて分野横断的な連携を促進するうえで、ネットワークが取り組むべきテーマとはどのようなものか、どのような活動を行っていくのか、これからのネットワーク化のめざすもの、その意義を考えていきます。

日時 2020年 9月3日 **木** 14:30-16:30

オープニング 第1回会合の開催にあたって 14:30~14:40

- 森田 昌敏 (環境放射能とその除染・中間貯蔵および環境再生のための学会 (環境放射能除染学会) 理事長)
- 小林 正明 (環境放射能除染学会 副会長 (中間貯蔵・環境安全事業株式会社 代表取締役社長))

第1部 減容・再生利用等の研究開発の進展 14:40~15:00

- 細見 正明 (東京農工大学 名誉教授)
- 大迫 政浩 (環境放射能除染学会 会長 (国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター長))
- 松田 和久 (前 中間貯蔵・環境安全事業株式会社 次長)

第2部 これからのネットワーク化のめざすもの 15:00~16:30

- 座談会メンバー
- 細見 正明 (座長)、森田 昌敏、大迫 政浩、小林正明、大原 利真 (国立環境研究所 企画部 (福島支部) フェロー)
 - リードスピーカー (5人の話題提供者)
 - 河津 賢澄 (福島大学共生システム理工学研究科 客員教授)
 - 林 誠二 (国立環境研究所 福島支部 研究グループ長)
 - 押野 嘉雄 (鹿島建設株式会社環境本部 専任役 (環境放射能除染学会 理事))
 - 小林 千莉 (福島工業高等専門学校 専攻科)
 - 万福 裕造 (飯舘村 産業振興課 専門員 (農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター))